

お知らせ



□ASJ 秋田スタジオ  
第38回未来のをぞく住宅展  
アトリオン B1F 多目的ホール  
11月19日(土) 11:00 ~ 18:00  
11月20日(日) 10:00 ~ 18:00

詳しくはこちらをご覧ください。

イベント開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

ニュースレター  
「建築家の日常・非日常」  
発行責任者：加藤 一成  
株式会社 加藤一成建築設計事務所  
仙台オフィス  
TEL: 022-739-8931 FAX: 022-739-8932  
秋田オフィス  
TEL: 018-831-4315 FAX: 018-831-4316  
HP: <http://www.issei-design.com/>  
Blog: <http://www.issei-design.com/blog/>  
Mail: [info@issei-design.com](mailto:info@issei-design.com)

旭南ハイツ Renovation が、秋田県、並びに(一社)秋田県建築士事務所協会主催、平成28年度(第30回)『秋田の住宅コンクール』において、秋田県建築士事務所協会会長賞(優秀賞・専門部門最優秀賞)に選出されました。心より嬉しく、光栄に思います。このような設計の機会を与えていただいたクライアントはじめ、関係各位の皆様により感謝いたします。



▲秋田魁新報様でも取り上げて頂きました。



406号室 Designer: ALABOTTO 藤井 大  
202号室 Designer: 加藤 一成建築設計事務所 小野 尚也



古さを肯定して 都市のストックを覚醒させる

旭南ハイツとは

ローコスト&クラフトワークによる 社会資源の発掘

旭南ハイツリノベーションプロジェクト

空洞化アパートのモザイク・リノベーション

既存の状況とリノベーション過程。老朽化した昭和のアパートに新しいデザインをちりばめていく。

Before

既存平面図 1:100

■特集 "平成28年度(第30回)『秋田の住宅コンクール』 秋田県建築士事務所協会会長賞(優秀賞・専門部門最優秀賞)受賞"

>> 「M-House」オープンハウス

皆様こんにちは。小野です！11/5・6に開催致しました、「M-House 2階の中庭を囲う家」のオープンハウスにご来場頂いた方々、誠にありがとうございました。様々な方と沢山お話でき、本当に有意義な時間でした。このような機会を与えて下さったオーナーに感謝です。詳細は後程(^^)

>> こたつ

こんにちは、山崎です。晩秋、冬の気配を感じる今日この頃です。うちはようやくこたつを居間にしまして、家族みんなでぬくぬくと温まっています。「サザエさん」に代表されるような、昭和の家庭を描いたドラマには、必ずと言っていいほどこたつが登場します。ただ最近の家はこたつ自体がないところも多いと聞きます。暖房機器や家の断熱性能が上がり、こたつで暖をとる必要もなくなり、こたつは暖房機器というよりは、生活様式を大きく左右するインテリア的な要素を含むアイテムとして扱われるようになってきたと言えると思います。時代とともに畳からフローリングに変わり、生活スタイルも様々になっていますから、こたつ事情が変化するのも当然かもしれません。スタイリッシュな家具に囲まれて暮らすのも憧れですが、こたつにミカンのような昔ながらの暮らしも味があってよろしいですね。うちの場合は猫もおりまして、こたつを出してからというもの人間も猫も毎日こたつの中で丸まっております(笑)。こたつたた寝、心地良いのですからだの為にあまりよくないようです。気を付けます！

>> 編集後記

みなさん、こんにちは。11月になり、晩秋もやや過ぎて初冬の様相を呈してきました。夏が終わってからここまで、あっと言う間でしたね。今週はいよいよ雪マークも登場し、またいつもの冬が近づきつつあります。相変わらず、いろいろな事件や事故が矢継ぎ早に起こります。数日前にあった東京デザインウィークでのオブジェ火災。本当にやるせなく、心が痛みます。最初のニュースを見た瞬間、これは建築の学生だろう... とわかりました。平滑で均質なモダンデザインの後、現代は素材感があり不連続で有機的なデザインがトレンドの一つです。軽くてフワフワ・ヒラヒラとした柔らかい素材もまたトレンドと言ってよいと思います。そんな素材に光を透過させて、さらに素材感を引き立たせる... 分かりますし、学生だったら私もやりそうです。正に今風のデザインに潜んだ隠れた危険が招いた結果だったかもしれません。どちらの立場も、極めてお気の毒です。亡くなった男児のご冥福をお祈りいたします。明るくない話題でしたが、建築を愛する者として、書かずにはいられませんでした。最後までお読みいただきましてありがとうございました。それでは次回もどうぞお楽しみに。

10月下旬の某日、「能代の二世帯住宅」の住宅雑誌取材でした。ほぼ半日をかけて丁寧に取材していただきました。写真はダイニングのセッティングの様子。来年1月のJUJ 第3号で掲載予定です。